

メッセージ題「救いの系図」 <先週の講壇より>

「アブラハムの子であるダビデの子、イエス・キリストの系図。」マタイ 1:1 【口語訳】

毎週のメッセージシリーズで創世記が終わりましたので、ここからクリスマスに向けてのメッセージに入りたいと思います。

ところで皆さんはそれほど興味はないと思いますが、私の家系についてお話ししますと、どうやら私は徳川家康の家臣だった榊原という大名の子孫だということです。だから何だということはありませんで、現代の日本人にとってほとんど重要なことではありませんね。

イエス様のご生涯が記されているマタイによる福音書、新約聖書のオープニングを飾るこの箇所ですが、日本人にとってはほとんど馴染みのない系図で始まります。上記の通り、今や日本人にとってはほとんど重要ではない系図ではありますが、実はこの箇所の系図は重要も重要、マタイの冒頭に無くてはならないものなのです。それは、神であるのに人となってお生まれくださったイエス様は確かなユダヤ人であるということ、そして王ダビデの家系から生まれるという旧約の預言の成就であること、それらのことをはっきりと示しているからです。これはユダヤ人にとっては最重要なことでした。

そして私たちにとっても、この系図は語りかけています。それは、救い主がこの地上に、そしてこの歴史の只中に、はっきりと刻み込まれたということ。二千年前、イエス様は救いを成し遂げるために私たちのところへおいでくださいました。救いの系図、それがここに記されています。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、天にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021 年 11 月 21 日

オレンジ郡
キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を堅く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ 2 : 15

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈祷会 : (水) 18:30-

